阿波市全庁評価シート　平成26年度実施事業対象

PLAN	No. 23 ー 1	基本事務事業名	商工振興事務	事務事業名	商工会支援事業	公的関与	7	シート作成日	平成27年7月3日
	部局名	産業経済部	課名	商工観光課	主務課長名	阿部　守	シート作成者名	石原　かおり	
	事業区分	○ 1 ソフト事業	○ 3 経常的事務事業	◉ 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法	☐ 1 直営	☐ 3 全部委託		
		○ 2 ハード事業	○ 4 施設の維持管理	○ 6 内部管理事務・その他		☐ 2 一部委託	☑ 4 補助等		
	総合計画	基本構想(政策)	5. 産業が発展するまちづくり	実施計画	事業の開始・終了				
		基本計画(施策)	(2)商業の振興	◉ 1 該当	平成 17 年 ～ 平成 年	☑ 期間設定なし			
		主要施策	(1)商工会の育成	○ 2 非該当	根拠法令等				
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	阿波市商工会						
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	阿波市の商工業者の育成・支援や地域でのまちづくりを担う商工会の運営・活動を支援します。					
			今年度						
	事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)							
		① 阿波市商工会の運営補助							
		② 阿波市商工会の活動支援							
		③ 商工業の経営支援							
		④ 業種別指導、研修会等の実施支援							
		⑤							

数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標
	商工会の会員数	商工会の会員数の把握	事業所	目標	1000	1000	1000	↑
				実績	795	770		
	業種別研修会参加事業所のべ数	相談事業所のべ人数により必要性を判断	所	目標	100	100		↑
				実績	17	11		
				目標				
				実績				

DO	予算費目	会　計	一般会計	款 7	商工費	項 1	商工費	目 1	商工振興費

		平成 25 年度決算		平成 26 年度決算		平成 27 年度予算		備考
直接事業費	国庫支出金		千円		千円		千円	
	県支出金		千円		千円		千円	
	地方債		千円		千円		千円	
	その他特定財源		千円		千円		千円	
	一般財源		12,610 千円		12,610 千円		12,610 千円	
	計(A)		12,610 千円		12,610 千円		12,610 千円	
人件費(B)	正職員工数・経費	0.420 人	2,470 千円	0.420 人	2,425 千円	0.420 人	2,440 千円	
	臨時・嘱託職種							
	臨時・嘱託工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	
全体事業費(A＋B)			15,080 千円		15,035 千円		15,050 千円	

阿波市全庁評価シート　平成26年度実施事業対象

CHECK

	チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価	
必要性	1．市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	◉ 大きい	商工会の運営、及び商工会が行う会員事業所への経営指導や人材育成等を支援していくことで、阿波市商工会の運営及び活動の活性化に寄与できます。	○ 少ない	◉ 大きい
	2．厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	◉ ある		○ ない	◉ ある
	3．住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	◉ いない		○ いる	◉ いない
有効性	1．施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	◉ いえる	会員数が年々減少傾向にあり、これからは新規会員獲得に向け時代に即したサービスの提供が必要です。 阿波市商工会が行う会員事業所の指導・育成等の支援を行うため、補助金を交付しました。	○ いえない	◉ いえる
	2．事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	◉ いえる		○ いえない	◉ いえる
	3．市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	◉ しない		○ する	◉ しない
	4．事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	◉ できる		○ できない	◉ できる
達成度	1．目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		阿波市商工会が自身でも運営努力をしながら、市の補助金等支援を活用し、会員事業所に対して経営講習会等で経営診断及び経営改善提案指導等を行っています。	○ 目標に比べて劣っている	
	2．目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない			○ あまり上がっていない	
	3．目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	◉ 概ね達成している			◉ 概ね達成している	
	4．目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	○ 十分達成している			○ 十分達成している	
効率性	1．効果に比べてコストが高い。	○ 高い	◉ 適当	成果がすぐに出ない事業であるため判断が難しい状況ですが、業種全体の向上に向け市商工業発展、推進のため補助金としての支援は必要です。	○ 高い	◉ 適当
	2．他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	◉ できない		○ できる	◉ できない
	3．予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない

ACTION

	一次評価					二次評価				
評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	4	4	3	4	A	4	4	3	4	A
今後の方向性	○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	
	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		
当面の課題	阿波市商工会の新規会員獲得及び会員事業所の継続・活性化を図ることを目的として、経営支援事業や地域振興事業等の事務がスムーズに図られるよう、支援する必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点 商工業の振興に商工会の果たす役割は重要です。商工会員の現状は厳しいことから、継続して計画的に進めてください。				
改革案と実行計画	各事業所が連携し、一致団結して新しいアイデアなどを出し合い、魅力あふれる商工業の活性化につながる支援を行います。									
委員会指摘事項										

阿波市全庁評価シート　平成26年度実施事業対象

PLAN	No. 23 ー 2	基本事務事業名	商工振興事務	事務事業名	たばこ販売組合支援補助金	公的関与	7	シート作成日	平成27年7月3日
	部局名	産業経済部	課名	商工観光課	主務課長名	阿部　守	シート作成者名	石原　かおり	
	事業区分	○ 1 ソフト事業	○ 3 経常的事務事業	◉ 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法	☐ 1 直営	☐ 3 全部委託		
		○ 2 ハード事業	○ 4 施設の維持管理	○ 6 内部管理事務・その他		☐ 2 一部委託	☑ 4 補助等		
	総合計画	基本構想(政策)	5. 産業が発展するまちづくり	実施計画	事業の開始・終了				
		基本計画(施策)	(2)商業の振興	○ 1 該当	平成 17 年 ～ 平成 年	☑ 期間設定なし			
		主要施策	(1)商工会の育成	◉ 2 非該当	根拠法令等				
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	阿波市内消費者、たばこ小売人組合						
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	阿波市内のたばこ販売店の振興及び発展等を支援します。					
			今年度						
	事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)							
		① 日本たばこからの指示による対策会議の支援							
		② たばこの地元購買運動の推進、支援							
		③ 未成年者喫煙防止運動の推進、支援							
		④							
		⑤							

数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標
	たばこ販売業者数	登録された販売店数	店	目標	80	80	80	→
				実績	69	67		
				目標				
				実績				
				目標				
				実績				

DO	予算費目	会　計	一般会計	款	7	商工費	項	1	商工費	目	1	商工振興費

		平成 25 年度決算	平成 26 年度決算	平成 27 年度予算	備考
直接事業費	国庫支出金	千円	千円	千円	市場及び吉野がそれぞれ役員不在等の理由から平成26年度は活動休止。役員選任後に市へ連絡をして活動再開予定。平成27年度予算は4団体分を計上。
	県支出金	千円	千円	千円	
	地方債	千円	千円	千円	
	その他特定財源	千円	千円	千円	
	一般財源	272 千円	144 千円	272 千円	
	計(A)	272 千円	144 千円	272 千円	
人件費(B)	正職員工数・経費	0.070 人 412 千円	0.070 人 404 千円	0.070 人 407 千円	
	臨時・嘱託職種				
	臨時・嘱託工数・経費	0.000 人 0 千円	0.000 人 0 千円	0.000 人 0 千円	
全体事業費(A＋B)		684 千円	548 千円	679 千円	

阿波市全庁評価シート　平成26年度実施事業対象

CHECK

	チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価	
必要性	1．市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	◉ 大きい	たばこの市内消費の拡大、また未成年者喫煙防止及び安心安全な社会生活を営むためにも必要性が高いです。	○ 少ない	◉ 大きい
	2．厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	◉ ある		○ ない	◉ ある
	3．住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	◉ ある	○ ない		◉ ある	○ ない
	4．住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	◉ いない		○ いる	◉ いない
有効性	1．施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	◉ いえる	PRにより未成年者喫煙防止運動やポイ捨て防止運動等の推進を行っています。	◉ いえない	○ いえる
	2．事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	◉ いえない	○ いえる		◉ いえない	○ いえる
	3．市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	◉ しない		○ する	◉ しない
	4．事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	◉ できる		○ できない	◉ できる
達成度	1．目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		健康重視・価格上昇により年々喫煙者は減少しており、市内消費も減少傾向にある。	○ 目標に比べて劣っている	
	2．目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	◉ あまり上がっていない			◉ あまり上がっていない	
	3．目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	○ 概ね達成している			○ 概ね達成している	
	4．目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	○ 十分達成している			○ 十分達成している	
効率性	1．効果に比べてコストが高い。	○ 高い	◉ 適当	たばこ販売売上促進をはかりつつ、住民に対して健康に配慮した喫煙について周知するなど厳しい状況の中、PR活動等は効率よく行えています。	○ 高い	◉ 適当
	2．他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	◉ できない		○ できる	◉ できない
	3．予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない

ACTION

	一次評価					二次評価				
評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	3	3	2	4	C	3	2	2	4	C
今後の方向性	○ 拡大・充実	○ 現状維持	◉ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	
	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		
当面の課題	近年喫煙者が減少するなか、たばこ販売業者についても減少傾向にあり、販売促進しつつ健康重視を呼び掛けるという矛盾との共存という難しさがあります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点 未成年者の喫煙防止、喫煙による健康への影響等について、周知、理解の下、たばこ販売組合への支援を行ってください。				
改革案と実行計画	阿波市内のたばこ販売業者合同での啓発運動等を推進していきます。									
委員会指摘事項										

阿波市全庁評価シート　平成26年度実施事業対象

PLAN	No. 23 ー 3	基本事務事業名	商工振興事務	事務事業名	商工振興補助金（青色申告）	公的関与	7	シート作成日	平成27年7月3日
	部局名	産業経済部	課名	商工観光課	主務課長名	阿部　守	シート作成者名	石原　かおり	
	事業区分	○ 1 ソフト事業	○ 3 経常的事務事業	◉ 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法	□ 1 直営	□ 3 全部委託		
		○ 2 ハード事業	○ 4 施設の維持管理	○ 6 内部管理事務・その他		□ 2 一部委託	☑ 4 補助等		
	総合計画	基本構想(政策)	5. 産業が発展するまちづくり	実施計画	事業の開始・終了				
		基本計画(施策)	(2)商業の振興	○ 1 該当	平成 17 年 ～ 平成 年	☑ 期間設定なし			
		主要施策	(1)商工会の育成	◉ 2 非該当	根拠法令等				
	事業の対象・目的	対象（誰を、何を）	阿波市商工会						
		目的（どういう状態にしたいのか）	最終的	青色申告者の指導育成並びに青色申告制度の普及拡大を支援します。					
			今年度						
	事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。（主なもの5つまで）							
		① 青色申告特別控除の適用を受けるための完全複式簿記の指導支援							
		② パソコン用会計ソフトの普及と指導の支援							
		③ 講習会、研修会等開催の支援							
		④ 川島税連及び県連、全青色総連合等の事業への参加と協力の支援							
		⑤ 青色申告の勧奨及び新規会員加入促進の支援							

数値目標（事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標）	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標
	青色申告相談件数	相談事業所数により必要性を判断	件	目標	3000	3000	3000	→
				実績	1412	1339		
				目標				
				実績				
				目標				
				実績				

DO	予算費目	会　計	一般会計	款	7	商工費	項	1	商工費	目	1	商工振興費

		平成 25 年度決算	平成 26 年度決算	平成 27 年度予算	備考
直接事業費	国庫支出金	千円	千円	千円	
	県支出金	千円	千円	千円	
	地方債	千円	千円	千円	
	その他特定財源	千円	千円	千円	
	一般財源	232 千円	232 千円	232 千円	
	計(A)	232 千円	232 千円	232 千円	
人件費(B)	正職員工数・経費	0.070 人 412 千円	0.070 人 404 千円	0.070 人 407 千円	
	臨時・嘱託職種				
	臨時・嘱託工数・経費	0.000 人 0 千円	0.000 人 0 千円	0.000 人 0 千円	
全体事業費(A＋B)		644 千円	636 千円	639 千円	

阿波市全庁評価シート　平成26年度実施事業対象

CHECK

	チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価	
必要性	1．市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	◉ 大きい	中小企業者の指導育成、制度の普及拡大、企業経営の発展を図るためには必要です。	○ 少ない	◉ 大きい
	2．厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	◉ ある		○ ない	◉ ある
	3．住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	◉ ある	○ ない		◉ ある	○ ない
	4．住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	◉ いない		○ いる	◉ いない
有効性	1．施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	◉ いえる	相談指導、記帳継続指導の充実、インターネット情報等の提供などにより有効です。	○ いえない	◉ いえる
	2．事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	◉ いえる		○ いえない	◉ いえる
	3．市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	◉ しない		○ する	◉ しない
	4．事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	◉ できる		○ できない	◉ できる
達成度	1．目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		IT時代に対応した経営・申告等の指導、講習会・研修会の実施、申告相談など効果的なサービスの提供が出来ています。	○ 目標に比べて劣っている	
	2．目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない			○ あまり上がっていない	
	3．目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	◉ 概ね達成している			◉ 概ね達成している	
	4．目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	○ 十分達成している			○ 十分達成している	
効率性	1．効果に比べてコストが高い。	○ 高い	◉ 適当	会員事業所の経営継続及び発展を図るために個別相談を中心として積極的に各種事業を実施して、効率よく活動できています。	○ 高い	◉ 適当
	2．他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	◉ できない		○ できる	◉ できない
	3．予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない

ACTION

	一次評価					二次評価				
評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	3	4	3	4	A	3	4	3	4	A
今後の方向性	○ 拡大・充実	○ 現状維持	◉ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	
	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		
当面の課題	専門的知識が必要な青色申告相談事務がスムーズに図れるように支援することです。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
改革案と実行計画	阿波市青色申告会内容を検討し活気ある申告会になるよう支援します。					実行計画に沿って商工会と連携し、青色申告の普及啓発に努めてください。				
委員会指摘事項										

阿波市全庁評価シート　平成26年度実施事業対象

PLAN	No. 23 ー 4	基本事務事業名	商工振興事務	事務事業名	商工業振興資金利子補給金	公的関与	7	シート作成日	平成27年7月3日
	部局名	産業経済部	課名	商工観光課	主務課長名	阿部　守		シート作成者名	石原　かおり

事業区分	○ 1 ソフト事業	○ 3 経常的事務事業	◉ 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法	□ 1 直営　□ 3 全部委託
	○ 2 ハード事業	○ 4 施設の維持管理	○ 6 内部管理事務・その他		□ 2 一部委託　☑ 4 補助等

総合計画	基本構想(政策)	5. 産業が発展するまちづくり	実施計画	事業の開始・終了	
	基本計画(施策)	(2)商業の振興	○ 1 該当	平成 17 年 ～ 平成 年	☑ 期間設定なし
	主要施策	(1)商工会の育成	◉ 2 非該当	根拠法令等	

事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		阿波市商工会加入中小企業者
	目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	経営基盤の安定化と融資の利便性を図り、中小企業者の自己資金増大を図ります。
		今年度	

事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)
	① 阿波市商工会加入中小企業者の経営の支援
	② 阿波市商工会加入中小企業者の振興発展の支援
	③
	④
	⑤

数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標
	利子補給件数	利子補給件数により経済支援の有効性を判断	件	目標	20	20	25	↓
				実績	18	30		
				目標				
				実績				
				目標				
				実績				

DO	予算費目	会　計	一般会計	款	7	商工費	項	1	商工費	目	1	商工振興費

		平成 25 年度決算	平成 26 年度決算	平成 27 年度予算	備考
直接事業費	国庫支出金	千円	千円	千円	平成25年度に補助対象借入限度額を1,500万円に拡充していますが、平成26年度から貸付限度額が2,000万円に増額しており、市の限度額の増額要望があります。
	県支出金	千円	千円	千円	
	地方債	千円	千円	千円	
	その他特定財源	千円	千円	千円	
	一般財源	69 千円	99 千円	130 千円	
	計(A)	69 千円	99 千円	130 千円	
人件費(B)	正職員工数・経費	0.070 人　412 千円	0.070 人　404 千円	0.070 人　407 千円	
	臨時・嘱託職種				
	臨時・嘱託工数・経費	0.000 人　0 千円	0.000 人　0 千円	0.000 人　0 千円	
全体事業費(A＋B)		481 千円	503 千円	537 千円	

阿波市全庁評価シート　平成26年度実施事業対象

CHECK

	チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価	
必要性	1．市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	◉ 大きい	中小企業者に対する金融支援の一環として商工業者の振興発展を図ります。	○ 少ない	◉ 大きい
	2．厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	◉ ある		○ ない	◉ ある
	3．住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	◉ ある	○ ない		◉ ある	○ ない
	4．住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	◉ いない		○ いる	◉ いない
有効性	1．施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	◉ いえる	商工会会員の中小企業者に対する利子補給として、経営支援に有効です。	○ いえない	◉ いえる
	2．事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	◉ いえる		○ いえない	◉ いえる
	3．市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	◉ しない		○ する	◉ しない
	4．事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	◉ できる		○ できない	◉ できる
達成度	1．目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		平成26年度は30件を利子補給として支援しました。	○ 目標に比べて劣っている	
	2．目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない			○ あまり上がっていない	
	3．目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	◉ 概ね達成している			◉ 概ね達成している	
	4．目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	○ 十分達成している			○ 十分達成している	
効率性	1．効果に比べてコストが高い。	○ 高い	◉ 適当	商工会と連携し、事業者の経営活性化にむけた支援として有効です。	○ 高い	◉ 適当
	2．他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	◉ できない		○ できる	◉ できない
	3．予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない

ACTION

	一次評価					二次評価				
評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	3	4	3	4	A	3	4	3	4	A
今後の方向性	○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	
	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		
当面の課題	金融相談に応じ、経営内容及び資金使途に適した有利な制度資金の斡旋指導、会員事業所の経営改善等がこれからの課題です。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点 中小企業への支援制度は必要です。より実効性のある制度内容を検討し、実行計画に沿って進めてください。				
改革案と実行計画	貸付対策を検討し、体質改善を図り近代化を促進する目的を持った、活気ある商工業者の増加を図ります。									
委員会指摘事項										

阿波市全庁評価シート　平成26年度実施事業対象

PLAN	No. 23 ー 5	基本事務事業名	商工振興事務	事務事業名	商工振興イベント実施補助金	公的関与	7	シート作成日	平成27年7月3日
	部局名	産業経済部	課名	商工観光課	主務課長名	阿部　守	シート作成者名	石原　かおり	
	事業区分	○ 1 ソフト事業	○ 3 経常的事務事業	◉ 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法	☐ 1 直営	☐ 3 全部委託		
		○ 2 ハード事業	○ 4 施設の維持管理	○ 6 内部管理事務・その他		☐ 2 一部委託	☑ 4 補助等		
	総合計画	基本構想(政策)	5. 産業が発展するまちづくり	実施計画	事業の開始・終了				
		基本計画(施策)	(2)商業の振興	○ 1 該当	平成 17 年 ～ 平成 年	☑ 期間設定なし			
		主要施策	(1)商工会の育成	◉ 2 非該当	根拠法令等				
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	阿波市商工会・市内団体						
		目的(どういう状態にしたいのか) 最終的	商工会や各種団体が実施するイベントを助成し、地域の活性化を図ります。また、事業(イベント)のPRを積極的に実施し、商業の発展と観光客や参加者数の増加を図ります。						
		今年度							
	事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)							
		① 切幡寺町振興事業補助金							
		② 宮川内鯉のぼり掲揚事業補助金							
		③ 阿波市納涼祭事業補助金							
		④ やねこじき事業補助金							
		⑤ はなまつり事業補助金							

数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標
	イベント参加や観光客数		人	目標	4500	4500	4500	↑
				実績	3000	3000		
				目標				
				実績				
				目標				
				実績				

DO	予算費目	会　計	一般会計	款	7	商工費	項	1	商工費	目	1	商工振興費

		平成 25 年度決算	平成 26 年度決算	平成 27 年度予算	備考
直接事業費	国庫支出金	千円	千円	千円	平成25年度より、阿波市観光協会から支出していた事業補助金(納涼祭、やねこじき、はなまつり)を商工振興費から支出しています。　宮川内鯉のぼり掲揚事業は鯉のぼりの不足と団体の高齢化から平成27年度は休止となっています。(今後も状況をみる)
	県支出金	千円	千円	千円	
	地方債	千円	千円	千円	
	その他特定財源	千円	千円	千円	
	一般財源	3,148 千円	2,353 千円	2,313 千円	
	計(A)	3,148 千円	2,353 千円	2,313 千円	
人件費(B)	正職員工数・経費	0.350 人　2,059 千円	0.350 人　2,021 千円	0.350 人　2,033 千円	
	臨時・嘱託職種				
	臨時・嘱託工数・経費	0.000 人　0 千円	0.000 人　0 千円	0.000 人　0 千円	
全体事業費(A＋B)		5,207 千円	4,374 千円	4,346 千円	

阿波市全庁評価シート　平成26年度実施事業対象

CHECK

	チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価	
必要性	1．市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	◉ 大きい	事業を実施することにより地域の活性化を図ります。	○ 少ない	◉ 大きい
	2．厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	◉ ある		○ ない	◉ ある
	3．住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	◉ いない		○ いる	◉ いない
有効性	1．施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	◉ いえる	事業を実施することにより阿波市をPRする効果はありますが、商業への貢献度が高いとは言えません。	○ いえない	◉ いえる
	2．事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	◉ いえない	○ いえる		◉ いえない	○ いえる
	3．市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	◉ しない		○ する	◉ しない
	4．事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	◉ できる		○ できない	◉ できる
達成度	1．目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		事業を実施することにより地域の活性化につながっています。	○ 目標に比べて劣っている	
	2．目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない			◉ あまり上がっていない	
	3．目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	◉ 概ね達成している			○ 概ね達成している	
	4．目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	○ 十分達成している			○ 十分達成している	
効率性	1．効果に比べてコストが高い。	○ 高い	◉ 適当	補助金の額は必要経費に支出されており、効率よく実施できています。	○ 高い	◉ 適当
	2．他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	◉ できる	○ できない		○ できる	◉ できない
	3．予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない

ACTION

	一次評価					二次評価				
評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	4	3	3	3	A	4	3	2	4	A
今後の方向性	○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	
	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		
当面の課題	実施事業内容のマンネリ化を防ぐため、商業への貢献度をあげるため、再検討し新しいアイデアを取り入れる必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点 地域に密着したイベントは、地域の活性化にある程度の効果はあると思われますが、イベント自体やその実施内容の再検討が必要です。				
改革案と実行計画	関係団体と協議し、事業を開催することにより地域の活性化と観光客の誘致を図ります。									
委員会指摘事項										

阿波市全庁評価シート　平成26年度実施事業対象

No.	23	ー	6	基本事務事業名	観光振興事務	事務事業名	観光PR事業	公的関与	8	シート作成日	平成27年7月2日
部局名	産業経済部	課名	商工観光課	主務課長名	阿部　守	シート作成者名	枝澤　正彦				

PLAN

事業区分			事業運営方法	
◉ 1 ソフト事業	○ 3 経常的事務事業	○ 5 補助金・負担金・支援	☐ 1 直営	☐ 3 全部委託
○ 2 ハード事業	○ 4 施設の維持管理	○ 6 内部管理事務・その他	☑ 2 一部委託	☐ 4 補助等

総合計画			実施計画	事業の開始・終了	
	基本構想(政策)	5. 産業が発展するまちづくり			
	基本計画(施策)	(4)観光の振興	○ 1 該当	平成 17 年 ～ 平成 年	☑ 期間設定なし
	主要施策	(5)観光PR活動の強化	◉ 2 非該当	根拠法令等	

事業の対象・目的		
対象(誰を、何を)		観光客、観光事業者、市民、等
目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	阿波市への集客を高め、経済的効果や社会的効果を得ます。
	今年度	

事業の活動内容
具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)
① 観光パンフレットの作成や広告掲載
② 観光キャンペーンの実施
③ 観光協会が中心となり、市民と協働しながら観光イベントや観光資源の開発及びPR活動を行います。
④
⑤

数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標) 指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標
観光パンフレット配布数		枚	目標	10000	10000	10000	10000
			実績	8000	8000		
観光キャンペーン		回	目標	3	3		
			実績	2	3		
			目標				
			実績				

DO

予算費目	会　計	一般会計	款	7	商工費	項	1	商工費	目	2	観光費

		平成 25 年度決算	平成 26 年度決算	平成 27 年度予算	備考
直接事業費	国庫支出金	千円	千円	千円	
	県支出金	100 千円	千円	千円	
	地方債	千円	千円	千円	
	その他特定財源	千円	千円	千円	
	一般財源	18,040 千円	21,464 千円	18,052 千円	
	計(A)	18,140 千円	21,464 千円	18,052 千円	
人件費(B)	正職員工数・経費	0.210 人 1,235 千円	0.210 人 1,213 千円	0.210 人 1,220 千円	
	臨時・嘱託職種				
	臨時・嘱託工数・経費	0.000 人 0 千円	0.000 人 0 千円	0.000 人 0 千円	
全体事業費(A＋B)		19,375 千円	22,677 千円	19,272 千円	

阿波市全庁評価シート　平成26年度実施事業対象

CHECK

	チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価	
必要性	1．市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	◉ 大きい	阿波市の観光振興を図るため積極的にPR活動を行い、阿波市の知名度を高めていく必要があります。	○ 少ない	◉ 大きい
	2．厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	◉ ある		○ ない	◉ ある
	3．住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	◉ いない		○ いる	◉ いない
有効性	1．施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	◉ いえる	阿波市の観光資源及び特産品等をPRすることにより、知名度や経済的効果が高まります。	○ いえない	◉ いえる
	2．事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	◉ いえない	○ いえる		◉ いえない	○ いえる
	3．市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	◉ しない		○ する	◉ しない
	4．事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	◉ できる		○ できない	◉ できる
達成度	1．目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		予定しているパンフレットの配布及びキャンペーン、イベントは概ね予定どおり達成しています。	○ 目標に比べて劣っている	
	2．目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない			○ あまり上がっていない	
	3．目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	◉ 概ね達成している			◉ 概ね達成している	
	4．目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	○ 十分達成している			○ 十分達成している	
効率性	1．効果に比べてコストが高い。	○ 高い	◉ 適当	阿波市観光協会が市民活動の場となってきており、この活動が観光資源となりつつあるが、観光協会の事業量が増大し人手不足が課題になります。	○ 高い	◉ 適当
	2．他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	◉ できる	○ できない		◉ できる	○ できない
	3．予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	◉ ある	○ ない		◉ ある	○ ない
	4．電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない

ACTION

	一次評価					二次評価				
評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	4	3	3	2	B	4	3	3	2	B
今後の方向性	○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大・充実	○ 現状維持	◉ 方法改善	○ 民間委託等	
	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		
当面の課題	事業の拡充と財政負担のバランスが課題になります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点 商工会・観光協会等市内の各種団体との連携、さらには、隣接市町との連携も図りながら事業を進めてください。				
改革案と実行計画	阿波市へ集客を高めるためには、阿波市の多様な観光資源を見直し、新しい魅力を高め、新たな観光資源の開発等を進めていく必要があります。									
委員会指摘事項										

阿波市全庁評価シート　平成26年度実施事業対象

No.	23	ー	7	基本事務事業名	観光振興事業	事務事業名	観光施設管理事務	公的関与	7	シート作成日	平成27年7月2日
部局名	産業経済部			課名	商工観光課	主務課長名	阿部　守			シート作成者名	安原　正二

PLAN

事業区分				事業運営方法	
○ 1 ソフト事業	○ 3 経常的事務事業	○ 5 補助金・負担金・支援		☐ 1 直営	☐ 3 全部委託
○ 2 ハード事業	◉ 4 施設の維持管理	○ 6 内部管理事務・その他		☑ 2 一部委託	☐ 4 補助等

総合計画			実施計画	事業の開始・終了	
基本構想(政策)	5. 産業が発展するまちづくり				
基本計画(施策)	(4)観光の振興		○ 1 該当	平成　年 ～ 平成　年	☑ 期間設定なし
主要施策	(2)観光・交流拠点の整備充実、ネットワーク化の推進		◉ 2 非該当	根拠法令等	

事業の対象・目的		
対象(誰を、何を)	観光客・市民	
目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	市内観光施設維持管理などを行うことにより受け入れ体制を強化し、観光客の誘致を図ります
	今年度	

事業の活動内容
具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)
① 観光施設の整備
② 観光施設の清掃
③
④
⑤

数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標) 指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標
施設に係るクレーム数／年		回	目標	0	0	0	
			実績	2	0		
遊具の点検回数／年		回	目標	8	8	8	8
			実績	8	8		
			目標				
			実績				

DO

予算費目	会　計	一般会計	款	7	商工費	項	1	商工費	目	2	観光費

		平成 25 年度決算		平成 26 年度決算		平成 27 年度予算		備考
直接事業費	国庫支出金		千円		千円		千円	平成26年度 阿波市土柱山村広場防護柵設置工事(1，466千円)
	県支出金	245	千円	245	千円	245	千円	
	地方債		千円		千円		千円	
	その他特定財源	138	千円	123	千円	123	千円	
	一般財源	29,950	千円	17,205	千円	10,929	千円	
	計(A)	30,333	千円	17,573	千円	11,297	千円	
人件費(B)	正職員工数・経費	0.300 人 1,764	千円	0.300 人 1,732	千円	0.300 人 1,743	千円	
	臨時・嘱託職種							
	臨時・嘱託工数・経費	0.000 人 0	千円	0.000 人 0	千円	0.000 人 0	千円	
全体事業費(A＋B)		32,097	千円	19,305	千円	13,040	千円	

阿波市全庁評価シート　平成26年度実施事業対象

CHECK

	チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価	
必要性	1．市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	◉ 大きい	利用者が快適に利用できるよう市が管理する必要があります。	○ 少ない	◉ 大きい
	2．厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	◉ ある		○ ない	◉ ある
	3．住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	◉ いない		○ いる	◉ いない
有効性	1．施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	◉ いえる	施設等を良好な状態に保つことにより、誰でも安心して利用できる状態になっています。	○ いえない	◉ いえる
	2．事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	◉ いえない	○ いえる		◉ いえない	○ いえる
	3．市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	◉ しない		○ する	◉ しない
	4．事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	◉ できる		○ できない	◉ できる
達成度	1．目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		快適な施設を目指し、修繕及び管理業務を実施したことにより、良好な状態に保たれています。	○ 目標に比べて劣っている	
	2．目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない			○ あまり上がっていない	
	3．目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	◉ 概ね達成している			◉ 概ね達成している	
	4．目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	○ 十分達成している			○ 十分達成している	
効率性	1．効果に比べてコストが高い。	○ 高い	◉ 適当	コスト削減を目標に管理費を抑制しています。	○ 高い	◉ 適当
	2．他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	◉ できる	○ できない		◉ できる	○ できない
	3．予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	◉ ある	○ ない		◉ ある	○ ない

ACTION

	一次評価					二次評価				
評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	4	3	3	2	B	4	3	3	2	B
今後の方向性	○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大・充実	○ 現状維持	◉ 方法改善	○ 民間委託等	
	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		
当面の課題	施設の老朽化に伴う修繕費の増加が見込まれます。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
改革案と実行計画	観光客から親しまれる施設を目指して、利便性を考慮した安全で効率的な運営に努めた事業の推進が必要です。					実行計画に沿って進めてください。				
委員会指摘事項										

阿波市全庁評価シート　平成26年度実施事業対象

PLAN	No. 23 ー 8	基本事務事業名	観光振興事業	事務事業名	公園(他に属さない)及び広場の管理補助金	公的関与	7	シート作成日	平成27年7月2日
	部局名	産業経済部	課名	商工観光課	主務課長名	阿部　守	シート作成者名	安原　正二	
	事業区分	○ 1 ソフト事業	○ 3 経常的事務事業	○ 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法	□ 1 直営	□ 3 全部委託		
		○ 2 ハード事業	◉ 4 施設の維持管理	○ 6 内部管理事務・その他		□ 2 一部委託	☑ 4 補助等		
	総合計画	基本構想(政策)	5. 産業が発展するまちづくり	実施計画	事業の開始・終了				
		基本計画(施策)	(4)観光の振興	○ 1 該当	平成　年 ～ 平成　年	☑ 期間設定なし			
		主要施策	(2)観光・交流拠点の整備充実、ネットワーク化の推進	◉ 2 非該当	根拠法令等				
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	公園の利用者						
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	レクリエーション・市民の憩いの場として、市民が快適で楽しく利用できる環境づくりに努めます。					
			今年度						
	事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)							
		① 公園内の除草・清掃							
		②							
		③							
		④							
		⑤							

数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標
	除草・清掃回数／年		回	目標	1	1	1	1
				実績	1	1		
				目標				
				実績				
				目標				
				実績				

DO	予算費目	会　計	一般会計	款	7	商工費	項	1	商工費	目	2	観光費

		平成 25 年度決算	平成 26 年度決算	平成 27 年度予算	備考
直接事業費	国庫支出金	千円	千円	千円	
	県支出金	千円	千円	千円	
	地方債	千円	千円	千円	
	その他特定財源	千円	千円	千円	
	一般財源	117 千円	117 千円	117 千円	
	計(A)	117 千円	117 千円	117 千円	
人件費(B)	正職員工数・経費	0.100 人　588 千円	0.100 人　577 千円	0.100 人　581 千円	
	臨時・嘱託職種				
	臨時・嘱託工数・経費	0.000 人　0 千円	0.000 人　0 千円	0.000 人　0 千円	
全体事業費(A＋B)		705 千円	694 千円	698 千円	

阿波市全庁評価シート　平成26年度実施事業対象

CHECK

	チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価	
必要性	1．市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	◉ 大きい	利用者が快適に利用できるよう市が管理する必要があります。	○ 少ない	◉ 大きい
	2．厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	◉ ある		○ ない	◉ ある
	3．住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	◉ いない		○ いる	◉ いない
有効性	1．施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	◉ いえる	施設等を良好な状態に保つことにより、誰でも安心して利用できる状態になっています。	○ いえない	◉ いえる
	2．事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	◉ いえる		○ いえない	◉ いえる
	3．市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	◉ する	○ しない		◉ する	○ しない
	4．事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	◉ できる		○ できない	◉ できる
達成度	1．目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		安全な公園を目指し、施設等の除草(清掃)作業を実施したことにより、良好な状態に保たれています。	○ 目標に比べて劣っている	
	2．目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない			○ あまり上がっていない	
	3．目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	◉ 概ね達成している			◉ 概ね達成している	
	4．目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	○ 十分達成している			○ 十分達成している	
効率性	1．効果に比べてコストが高い。	○ 高い	◉ 適当	コスト削減を目標に補助金を抑制しています。	○ 高い	◉ 適当
	2．他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	◉ できる	○ できない		◉ できる	○ できない
	3．予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない

ACTION

	一次評価					二次評価				
評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	4	3	3	3	A	4	3	3	3	A
今後の方向性	○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大・充実	○ 現状維持	◉ 方法改善	○ 民間委託等	
	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		
当面の課題	施設の老朽化に伴う修繕費の増加が見込まれます。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
改革案と実行計画	市民から親しまれる公園を目指して、利便性を考慮した安全で効率的な運営に努めた事業の推進が必要です。					実行計画に沿って進めてください。				
委員会指摘事項										

阿波市全庁評価シート　平成26年度実施事業対象

PLAN	No. 23 ー 9	基本事務事業名	消費者行政推進事務	事務事業名	消費者協会支援事業	公的関与	7	シート作成日	平成27年7月3日
	部局名	産業経済部	課名	商工観光課	主務課長名	阿部　守	シート作成者名	石原　かおり	
	事業区分	○ 1 ソフト事業	○ 3 経常的事務事業	◉ 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法	□ 1 直営	□ 3 全部委託		
		○ 2 ハード事業	○ 4 施設の維持管理	○ 6 内部管理事務・その他		□ 2 一部委託	☑ 4 補助等		
	総合計画	基本構想(政策)	2. 安全・安心のまちづくり	実施計画	事業の開始・終了				
		基本計画(施策)	(9)消費者対策の充実	◉ 1 該当	平成 17 年 ～ 平成 年	☑ 期間設定なし			
		主要施策	(1)消費者教育・啓発の推進	○ 2 非該当	根拠法令等				
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	市内各消費者協会・消費者						
		目的(どういう状態にしたいのか) 最終的	消費者教育を推進し、市民の健全な暮らしや生活の向上、消費者問題意識の高揚及び消費者トラブルの未然防止を目的とします。						
		今年度							
	事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)							
		① 消費者問題啓発活動の支援							
		② 消費者相談業務の支援							
		③ 安心・安全料理講習会、講演会開催の支援							
		④							
		⑤							

数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標
	市内消費者協会会員数		人	目標	300	300	300	↑
				実績	267	244		
				目標				
				実績				
				目標				
				実績				

DO	予算費目	会　計	一般会計	款 7	商工費	項 1	商工費	目 3	消費者行政推進費

		平成 25 年度決算		平成 26 年度決算		平成 27 年度予算		備考
直接事業費	国庫支出金		千円		千円		千円	
	県支出金		千円		千円		千円	
	地方債		千円		千円		千円	
	その他特定財源		千円		千円		千円	
	一般財源		193 千円		193 千円		193 千円	
	計(A)		193 千円		193 千円		193 千円	
人件費(B)	正職員工数・経費	0.250 人	1,470 千円	0.250 人	1,444 千円	0.250 人	1,452 千円	
	臨時・嘱託職種							
	臨時・嘱託工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	
全体事業費(A＋B)			1,663 千円		1,637 千円		1,645 千円	

阿波市全庁評価シート　平成26年度実施事業対象

CHECK

	チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価	
必要性	1．市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	◉ 大きい	消費生活を取り巻く社会経済状況の変化、消費者のライフスタイルの多様化に伴い、製品事故や契約トラブルなど、消費者に不安を与える事例が多く発生しているため、知識の普及啓発として必要です。	○ 少ない	◉ 大きい
	2．厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	◉ ある		○ ない	◉ ある
	3．住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	◉ ある	○ ない		◉ ある	○ ない
	4．住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	◉ いない		○ いる	◉ いない
有効性	1．施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	◉ いえる	安心・安全な消費生活を送るために有効です。	○ いえない	◉ いえる
	2．事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	◉ いえる		○ いえない	◉ いえる
	3．市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	◉ しない		○ する	◉ しない
	4．事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	◉ できる		○ できない	◉ できる
達成度	1．目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		消費者1人ひとりが、社会を構成する一員としての自覚を持ち行動できるよう、啓発活動を推進しています。	○ 目標に比べて劣っている	
	2．目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	◉ あまり上がっていない			◉ あまり上がっていない	
	3．目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	○ 概ね達成している			○ 概ね達成している	
	4．目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	○ 十分達成している			○ 十分達成している	
効率性	1．効果に比べてコストが高い。	○ 高い	◉ 適当	消費者団体の研修会及び講演会の参加等により地域の消費者啓発が実践されています。	○ 高い	◉ 適当
	2．他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	◉ できない		○ できる	◉ できない
	3．予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	◉ ある	○ ない		◉ ある	○ ない

ACTION

	一次評価					二次評価				
評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	3	4	2	3	B	3	4	2	3	B
今後の方向性	○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大・充実	○ 現状維持	◉ 方法改善	○ 民間委託等	
	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		
当面の課題	近年、高齢者の消費者トラブルが増加しています。消費者啓発活動を実施する消費者協会会員の資質や能力の向上、意識改革が必要です。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
改革案と実行計画	消費者トラブル防止と適切な対応のため、徳島県消費者情報センターや福祉関係団体等、関係機関との連携を図り、周知を行います。					新たな啓発方法などを研究しながら、実行計画に沿って進めてください。				
委員会指摘事項										

阿波市全庁評価シート　平成26年度実施事業対象

PLAN	No. 23 ー 10	基本事務事業名	工業団地管理事務	事務事業名	工業団地誘致事務	公的関与	7	シート作成日	平成27年7月2日
	部局名	産業経済部	課名	商工観光課	主務課長名	阿部　守		シート作成者名	坂東　秀和
	事業区分	○ 1 ソフト事業	◉ 3 経常的事務事業	○ 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法	☑ 1 直営		☐ 3 全部委託	
		○ 2 ハード事業	○ 4 施設の維持管理	○ 6 内部管理事務・その他		☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等	
	総合計画	基本構想(政策)	5. 産業が発展するまちづくり	実施計画	事業の開始・終了				
		基本計画(施策)	(3)工業の振興	○ 1 該当	平成　年 ～ 平成　年	☑ 期間設定なし			
		主要施策	(3)企業誘致の推進	◉ 2 非該当	根拠法令等				
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	阿波市へ進出を検討している企業						
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	企業の誘致					
			今年度	市のPR					
	事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)							
		① 県担当部局とのPR活動や情報の共有							
		② 土成工業団地企業連絡協議会との連携							
		③							
		④							
		⑤							

数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標
	企業誘致件数	具体的にわかりやすい	件	目標	1	1	1	
				実績	1	0		
				目標				
				実績				
				目標				
				実績				

DO	予算費目	会　計	一般会計	款 7	商工費	項 7	商工費	目 1	商工振興費

		平成 25 年度決算		平成 26 年度決算		平成 27 年度予算		備考
直接事業費	国庫支出金		千円		千円		千円	
	県支出金		千円		千円		千円	
	地方債		千円		千円		千円	
	その他特定財源		千円		千円		千円	
	一般財源		千円	281	千円	417	千円	
	計(A)	0	千円	281	千円	417	千円	
人件費(B)	正職員工数・経費	0.310 人	1,823 千円	0.310 人	1,790 千円	0.310 人	1,801 千円	
	臨時・嘱託職種							
	臨時・嘱託工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	
全体事業費(A＋B)			1,823 千円		2,071 千円		2,218 千円	

阿波市全庁評価シート　平成26年度実施事業対象

CHECK

	チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価	
必要性	1．市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	◉ 大きい	市の活性化・雇用の場の創出に繋げるため活動を継続する必要があります。。	○ 少ない	◉ 大きい
	2．厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	◉ ある		○ ない	◉ ある
	3．住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	◉ ない		◉ ある	○ ない
	4．住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	◉ いない		○ いる	◉ いない
有効性	1．施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	◉ いえる	製造業だけでなく新分野に働きかけることで有効性を高めます。	○ いえない	◉ いえる
	2．事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	◉ いえる		○ いえない	◉ いえる
	3．市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	◉ しない		○ する	◉ しない
	4．事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	◉ できる		○ できない	◉ できる
達成度	1．目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		工業団地が全区画完売した。他に団地として紹介できる物件がなく、成果が出にくい。	○ 目標に比べて劣っている	
	2．目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない			○ あまり上がっていない	
	3．目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	◉ 概ね達成している			◉ 概ね達成している	
	4．目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	○ 十分達成している			○ 十分達成している	
効率性	1．効果に比べてコストが高い。	○ 高い	◉ 適当	市だけでなく、県担当部局と連携を図ることで効率性を高めます。	○ 高い	◉ 適当
	2．他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	◉ できない		○ できる	◉ できない
	3．予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない

ACTION

	一次評価					二次評価				
評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	4	4	3	4	A	3	4	3	4	A
今後の方向性	○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	
	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		
当面の課題	これまでの製造業の企業を中心とした誘致活動からの転換					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
改革案と実行計画	農業分野や観光分野への働きかけなど特色のある誘致活動					県と連携し、情報の発信と収集をはかり、様々な職種の企業誘致に努めてください。				
委員会指摘事項										

阿波市全庁評価シート　平成26年度実施事業対象

No.	23	ー	11	基本事務事業名	道の駅管理事務	事務事業名	道の駅管理事務	公的関与	6	シート作成日	平成27年7月1日
部局名	産業経済部	課名	商工観光課	主務課長名	阿部　守	シート作成者名	坂東　孝一				

PLAN

事業区分				事業運営方法	
○ 1 ソフト事業	◉ 3 経常的事務事業	○ 5 補助金・負担金・支援		☐ 1 直営	☐ 3 全部委託
○ 2 ハード事業	○ 4 施設の維持管理	○ 6 内部管理事務・その他		☑ 2 一部委託	☐ 4 補助等

総合計画			実施計画	事業の開始・終了	
	基本構想(政策)	5. 産業が発展するまちづくり			
	基本計画(施策)	(4)観光の振興	◉ 1 該当	平成　年 ～ 平成　年	☑ 期間設定なし
	主要施策	(2)観光・交流拠点の整備充実、ネットワーク化の推進	○ 2 非該当	根拠法令等	

事業の対象・目的		
対象(誰を、何を)		道路利用者及び市民
目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	道路利用者や市民などの利便性の向上及び道の駅としての情報提供の充実
	今年度	

事業の活動内容
具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)
① 情報提供の充実
② 道の駅「どなり」駐車場清掃業務及び周辺樹木等の剪定作業
③
④
⑤

数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標
	道の駅「どなり」利用者数		人	目標	25000	25000	25000	30000
				実績	22917	20931		
				目標				
				実績				
				目標				
				実績				

DO

予算費目	会　計	一般会計	款	7	商工費	項	1	商工費	目	5	道の駅管理費

		平成 25 年度決算	平成 26 年度決算	平成 27 年度予算	備考
直接事業費	国庫支出金	千円	千円	千円	平成26年度 土成地域資源活力工房 外壁改修工事 (3，796千円)
	県支出金	2,200 千円	2,200 千円	2,200 千円	
	地方債	千円	千円	千円	
	その他特定財源	千円	3,700 千円	千円	
	一般財源	1,229 千円	2,205 千円	1,861 千円	
	計(A)	3,429 千円	8,105 千円	4,061 千円	
人件費(B)	正職員工数・経費	0.300 人　1,764 千円	0.300 人　1,732 千円	0.300 人　1,743 千円	
	臨時・嘱託職種				
	臨時・嘱託工数・経費	0.000 人　0 千円	0.000 人　0 千円	0.000 人　0 千円	
全体事業費(A＋B)		5,193 千円	9,837 千円	5,804 千円	

阿波市全庁評価シート　平成26年度実施事業対象

CHECK

	チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価	
必要性	1．市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	◉ 大きい	道路利用者や市民の交流施設としての利用促進を進める必要があります。	○ 少ない	◉ 大きい
	2．厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	◉ ある		○ ない	◉ ある
	3．住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	◉ ある	○ ない		◉ ある	○ ない
	4．住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	◉ いない		○ いる	◉ いない
有効性	1．施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	◉ いえる	道の駅としての機能は十分達成できています。	○ いえない	◉ いえる
	2．事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	◉ いえる		○ いえない	◉ いえる
	3．市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	◉ しない		○ する	◉ しない
	4．事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	◉ できる		○ できない	◉ できる
達成度	1．目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		利用者のニーズに合ったものを設定し利用者の向上を図ります。	○ 目標に比べて劣っている	
	2．目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない			○ あまり上がっていない	
	3．目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	◉ 概ね達成している			◉ 概ね達成している	
	4．目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	○ 十分達成している			○ 十分達成している	
効率性	1．効果に比べてコストが高い。	○ 高い	◉ 適当	県との管理委託契約のため評価できません。	○ 高い	◉ 適当
	2．他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	◉ できる	○ できない		◉ できる	○ できない
	3．予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	◉ ある	○ ない		◉ ある	○ ない

ACTION

	一次評価					二次評価				
評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	3	4	3	2	B	3	4	3	2	B
今後の方向性	○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	
	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		
当面の課題	利用率を上げるため、施設の修繕やPR等に努める必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点 継続的に指定管理者と連携し、効率的な管理運営に努めてください。				
改革案と実行計画	HPや紙媒体のメディアなどを利用し周知に努めます。									
委員会指摘事項										

阿波市全庁評価シート　平成26年度実施事業対象

No.	23	ー	12	基本事務事業名	道の駅管理事務費	事務事業名	土成地域資源活力工房指定管理業務	公的関与	6	シート作成日	平成27年7月1日
部局名	産業経済部		課名	商工観光課		主務課長名	阿部　守			シート作成者名	坂東　孝一

PLAN

事業区分				事業運営方法	
○ 1 ソフト事業	◉ 3 経常的事務事業	○ 5 補助金・負担金・支援		☐ 1 直営	☑ 3 全部委託
○ 2 ハード事業	○ 4 施設の維持管理	○ 6 内部管理事務・その他		☐ 2 一部委託	☐ 4 補助等

総合計画			実施計画	事業の開始・終了	
	基本構想(政策)	5. 産業が発展するまちづくり			
	基本計画(施策)	(4)観光の振興	◉ 1 該当	平成　年 ～ 平成　年	☑ 期間設定なし
	主要施策	(2)観光・交流拠点の整備充実、ネットワーク化の推進	○ 2 非該当	根拠法令等	

事業の対象・目的		
対象(誰を、何を)		道の駅「どなり」内にある土成地域資源活力工房(餐の館)
目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	道路利用者・観光客・地域住民の利便性の向上及び市内観光の拠点とした施設を目指します。
	今年度	

事業の活動内容

具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)

① 観光客などへの憩いの場の提供
② 道の駅「どなり」内にある土成地域資源活力工房(餐の館)管理運営業務
③
④
⑤

数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)

指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標
来館者数	月次報告書	人	目標	25000	25000	25000	30000
			実績	22917	20931		
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				

DO

予算費目	会　計	一般会計	款	7	商工費	項	1	商工費	目	5	道の駅管理費

		平成 25 年度決算		平成 26 年度決算		平成 27 年度予算		備考
直接事業費	国庫支出金		千円		千円		千円	
	県支出金		千円		千円		千円	
	地方債		千円		千円		千円	
	その他特定財源		千円		千円		千円	
	一般財源	3,100	千円	3,100	千円	3,100	千円	
	計(A)	3,100	千円	3,100	千円	3,100	千円	
人件費(B)	正職員工数・経費	0.300 人 1,764	千円	0.300 人 1,732	千円	0.300 人 1,743	千円	
	臨時・嘱託職種							
	臨時・嘱託工数・経費	0.000 人 0	千円	0.000 人 0	千円	0.000 人 0	千円	
全体事業費(A＋B)		4,864	千円	4,832	千円	4,843	千円	

阿波市全庁評価シート　平成26年度実施事業対象

CHECK

	チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価	
必要性	1．市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	◉ 大きい	道路利用者や地域住民のニーズを把握し、地域活性化の拠点となるよう有効利用します。	○ 少ない	◉ 大きい
	2．厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	◉ ある		○ ない	◉ ある
	3．住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	◉ いない		○ いる	◉ いない
有効性	1．施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	◉ いえる	今後も指定管理者制度による運営が必要です。	○ いえない	◉ いえる
	2．事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	◉ いえる		○ いえない	◉ いえる
	3．市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	◉ しない		○ する	◉ しない
	4．事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	◉ できる		○ できない	◉ できる
達成度	1．目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		指定管理者に来館者数の向上に努めれるよう、自主事業を積極的に行うよう進めていきます。	○ 目標に比べて劣っている	
	2．目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない			○ あまり上がっていない	
	3．目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	◉ 概ね達成している			◉ 概ね達成している	
	4．目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	○ 十分達成している			○ 十分達成している	
効率性	1．効果に比べてコストが高い。	○ 高い	◉ 適当	民間のノウハウを活かしながら、公的施設であるため、コスト削減のバランスを取ります。	○ 高い	◉ 適当
	2．他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	◉ できる	○ できない		◉ できる	○ できない
	3．予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	◉ ある	○ ない		◉ ある	○ ない
	4．電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	◉ ある	○ ない		◉ ある	○ ない

ACTION

	一次評価					二次評価				
評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	4	4	3	1	B	4	4	3	1	B
今後の方向性	○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	
	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		
当面の課題	ギャラリースペースや施設全体を利用し地域産業の活性化ができるよう施設の利用方法を検討したいと考えます。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点 継続して指定管理者と連携し、効率的な管理運営に努めてください。				
改革案と実行計画	HPや情報メディア等を利用し、施設利用者の向上を図っていきます。									
委員会指摘事項										

阿波市全庁評価シート　平成26年度実施事業対象

No.	23	ー	13	基本事務事業名	温泉センター事業	事務事業名	土柱休養村センター管理運営事業	公的関与	6	シート作成日	平成27年7月1日
部局名	産業経済部		課名	商工観光課		主務課長名	阿部　守			シート作成者名	坂東　孝一

PLAN

事業区分				事業運営方法	
○ 1 ソフト事業	◉ 3 経常的事務事業	○ 5 補助金・負担金・支援		☐ 1 直営	☑ 3 全部委託
○ 2 ハード事業	○ 4 施設の維持管理	○ 6 内部管理事務・その他		☐ 2 一部委託	☐ 4 補助等

総合計画			実施計画	事業の開始・終了	
	基本構想(政策)	5. 産業が発展するまちづくり			
	基本計画(施策)	(4)観光の振興	◉ 1 該当	平成　年 ～ 平成　年	☑ 期間設定なし
	主要施策	(2)観光・交流拠点の整備充実、ネットワーク化の推進	○ 2 非該当	根拠法令等	土柱休養村センターの設置及び管理に関する条例

事業の対象・目的		
対象(誰を、何を)		温泉利用者、観光客
目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	施設の適正な管理を行うことにより、利用者の利便性を図ります。
	今年度	

事業の活動内容
具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)
① 浴場施設の提供
②
③
④
⑤

数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標) 指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標
入浴者数	月次報告書(運営状況)	人	目標	60000	70000	72000	80000
			実績	69074	70470		
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				

DO

予算費目	会　計	一般会計	款	7	商工費	項	1	商工費	目	6	温泉センター費

		平成 25 年度決算		平成 26 年度決算		平成 27 年度予算		備考
直接事業費	国庫支出金		千円		千円		千円	平成26年度 土柱休養村センター 屋根改修工事 (11，253千円) 土柱休養村センター 周辺整備工事 (3，898千円)
	県支出金		千円		千円		千円	
	地方債		千円		千円		千円	
	その他特定財源	1,557	千円	12,960	千円	1,860	千円	
	一般財源	5,843	千円	6,206	千円	2,424	千円	
	計(A)	7,400	千円	19,166	千円	4,284	千円	
人件費(B)	正職員工数・経費	0.400 人 2,353	千円	0.400 人 2,310	千円	0.400 人 2,324	千円	
	臨時・嘱託職種							
	臨時・嘱託工数・経費	0.000 人 0	千円	0.000 人 0	千円	0.000 人 0	千円	
全体事業費(A＋B)		9,753	千円	21,476	千円	6,608	千円	

阿波市全庁評価シート　平成26年度実施事業対象

CHECK

	チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価	
必要性	1．市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	◉ 大きい	市民の交流並びに健康増進の施設としての利用促進をすすめています。	○ 少ない	◉ 大きい
	2．厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	◉ ある		○ ない	◉ ある
	3．住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	◉ いない		○ いる	◉ いない
有効性	1．施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	◉ いえる	憩いの場並びに癒しの場として市内外から多くの方が訪れています。	○ いえない	◉ いえる
	2．事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	◉ いえる		○ いえない	◉ いえる
	3．市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	◉ しない		○ する	◉ しない
	4．事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	◉ できる		○ できない	◉ できる
達成度	1．目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		利用者のニーズに合ったものを設定し、利用者の増加を図ります。	○ 目標に比べて劣っている	
	2．目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない			○ あまり上がっていない	
	3．目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	◉ 概ね達成している			◉ 概ね達成している	
	4．目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	○ 十分達成している			○ 十分達成している	
効率性	1．効果に比べてコストが高い。	○ 高い	◉ 適当	平成24年度より、民間業者を指定管理者に選定し運営を行っています。	○ 高い	◉ 適当
	2．他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	◉ できない		○ できる	◉ できない
	3．予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない

ACTION

	一次評価					二次評価				
評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	4	4	3	4	A	4	4	3	4	A
今後の方向性	○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	
	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		
当面の課題	施設のPR並びにサービスの向上を図り、利用客の増加を図ります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点 継続的に指定管理者と連携し、来訪者へのサービス提供と施設の管理運営に努めてください。				
改革案と実行計画	ホームページやパンフレットなどを利用して施設のPRを行います。									
委員会指摘事項										

阿波市全庁評価シート　平成26年度実施事業対象

No. 23 ー 14	基本事務事業名	観光振興事業	事務事業名	やすらぎ空間整備事業	公的関与	8	シート作成日	平成27年7月2日
部局名	産業経済部	課名	商工観光課	主務課長名	阿部　守	シート作成者名	坂東　秀和

PLAN

事業区分	○ 1 ソフト事業	○ 3 経常的事務事業	○ 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法	☑ 1 直営 / ☐ 3 全部委託
	◉ 2 ハード事業	○ 4 施設の維持管理	○ 6 内部管理事務・その他		☐ 2 一部委託 / ☑ 4 補助等

総合計画	基本構想(政策)	3. 美しい環境のまちづくり	実施計画	事業の開始・終了
	基本計画(施策)	(5)公園・緑地の整備	○ 1 該当	平成 24 年 ～ 平成 28 年 ☐ 期間設定なし
	主要施策	(3)花とみどりのまちづくりの推進	◉ 2 非該当	根拠法令等

事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	観光客及び市民
	目的(どういう状態にしたいのか) 最終的	阿讃山麓広域農道沿いに点在する観光拠点の整備と拠点間を桜を中心とした植樹でもてなし観光客の増加に繋げるとともに糖尿病死亡率が高い阿波市市民の健康増進に繋げる。
	目的(どういう状態にしたいのか) 今年度	阿讃山麓広域農道のハーフマラソンコースを中心に植樹し、事業のアピールを行う。拠点の測量設計業務を行い整備を進める。

事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)
	① 阿讃山麓広域農道及び拠点に桜等の植樹
	② 拠点の測量設計、計画策定
	③ 植樹した桜等の維持管理
	④
	⑤

数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標) 指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標
イベント回数	市民参加のイベント	回	目標	5	3	3	15
			実績	5	3		
植樹本数	進捗状況がわかりやすい	本	目標	約100	約100	約100	約1,000
			実績	136	71		
			目標				
			実績				

DO

予算費目	会　計	一般会計	款	7	商工費	項	7	商工費	目	2	観光費

		平成 25 年度決算	平成 26 年度決算	平成 27 年度予算	備考
直接事業費	国庫支出金	千円	2,419 千円	2,350 千円	平成27年度予算は維持管理費と各拠点の測量等委託業務費です。
	県支出金	千円	千円	千円	
	地方債	千円	千円	千円	
	その他特定財源	千円	千円	千円	
	一般財源	2,593 千円	7,002 千円	4,654 千円	
	計(A)	2,593 千円	9,421 千円	7,004 千円	
人件費(B)	正職員工数・経費	0.300 人 1,764 千円	2.300 人 13,281 千円	2.300 人 13,361 千円	
	臨時・嘱託職種				
	臨時・嘱託工数・経費	0.000 人 0 千円	0.000 人 0 千円	0.000 人 0 千円	
全体事業費(A＋B)		4,357 千円	22,702 千円	20,365 千円	

阿波市全庁評価シート　平成26年度実施事業対象

CHECK

	チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価	
必要性	1．市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	◉ 大きい	阿波市の観光振興及び高い糖尿病死亡率の改善は必要です。	○ 少ない	◉ 大きい
	2．厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	◉ ある		○ ない	◉ ある
	3．住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない
	4．住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	◉ いない		○ いる	◉ いない
有効性	1．施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	◉ いえる	事業を推進することで市外から、市内からの人の流れを作ることができます。また、観光と健康づくりを兼ねた計画は他になく、市の施策として有効です。	○ いえない	◉ いえる
	2．事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	◉ いえる		○ いえない	◉ いえる
	3．市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	◉ しない		○ する	◉ しない
	4．事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	◉ できる		○ できない	◉ できる
達成度	1．目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		国の補助事業を活用することとなり拠点整備の推進が見込まれています。	○ 目標に比べて劣っている	
	2．目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない			○ あまり上がっていない	
	3．目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	◉ 概ね達成している			◉ 概ね達成している	
	4．目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	○ 十分達成している			○ 十分達成している	
効率性	1．効果に比べてコストが高い。	○ 高い	◉ 適当	植樹は市民のボランティア参加を中心に行うなど、できる限りコスト削減に努めています。	○ 高い	◉ 適当
	2．他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	◉ できない		○ できる	◉ できない
	3．予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	◉ ない		◉ ある	○ ない
	4．電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	◉ ない		○ ある	◉ ない

ACTION

	一次評価					二次評価				
評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	4	4	3	4	A	4	4	3	3	A
今後の方向性	○ 拡大・充実	◉ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大・充実	○ 現状維持	◉ 方法改善	○ 民間委託等	
	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		
当面の課題	維持管理の検討					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点 やすらぎ空間整備事業は5年計画で進めている事業でする。市民の理解と協力をいただきながら、都市再生整備事業などとの調整を図りながら、今後も継続して整備充実を推進して下さい。				
改革案と実行計画	防草シートの活用などを検討し、効率よい人員活用を目指します。									
委員会指摘事項										